

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第85回（通算第164回）定例会 会議録

◆日時：令和6年1月16日（火） PM7：05～8：05
◆場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
◆出席者：14名 + オンライン3名
別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：05】

19：05～ 開 会

19：05～19：10 情報提供
映画「明日香に生きる」上映会
映画「オレンジランプ」上映会
講演会「パーキンソン患者さんへの関わり」

19：10～19：40 問題提起
「令和6年1月16日16：10 震度7の地震発生！」
～もし和歌山で発生していたら、あなたはどうしますか？～
補足：田辺市消防本部職員・田辺保健所職員

19：40～20：25 意見交換・発表

20：25 閉 会

【問題提起】

- 別添資料のとおり
被災地支援に行った人から聞いたこと
- ・衛生環境劣悪・トイレには行けない
 - ・道路の寸断により、現場にいけない。救出業務より搬送業務が中心に。

【意見交換】

●同じような震災が和歌山で起こったら・・・

<マニュアル>

- ・災害時は職場のマニュアルやアクションカードに沿って動くことになっているが、実際できるかどうか。できることをするしかないかも。
- ・マニュアルあるけど、暗記はきていない。
- ・発災直後の防災訓練はしているが、1週間から1か月のフェーズで何をするのかを含めた訓練を考えないといけないと思った。

<安否確認>

- ・ひとごとではないと思う。
- ・家族の安否や安全確認→利用者の安全確認の順番になるのでは。
- ・家族の安否が確認できずに動くのはストレス。
- ・利用者の情報リスト、整理をしておかないといけない。
- ・自転車で利用者の安否確認にいくつもりになっている。

<備蓄・環境整備>

- ・やっぱり道路の整備が重要。山間地域は都市部よりも後回しになるかも。
- ・備蓄で、生活用水も必要。ダンボールベッドは保存しているとボロボロになるので、長期保存にむかない。
- ・地域で中学校に備蓄をしているので、安心。学生が負担し、卒業時に備蓄しているものをもらう形になっている。
- ・地域で避難をしたらリボンを結んで知らせようとしているが、そのリボンを紛失した。避難完了報告の工夫が必要かも。

<情報>

- ・限定された地域の情報だけでなく、全国の発災情報がわかるアプリの活用も必要。
- ・やっぱり、大事なのは自助！発災直後は公助は期待できない。

災害時の優先順位

- 1 自分自身 2 家族 3 周囲のひと 4 職場や利用者
自分の安全を一番に優先すべき！

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と必要に応じて非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒・換気
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和6年2月20日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：未定